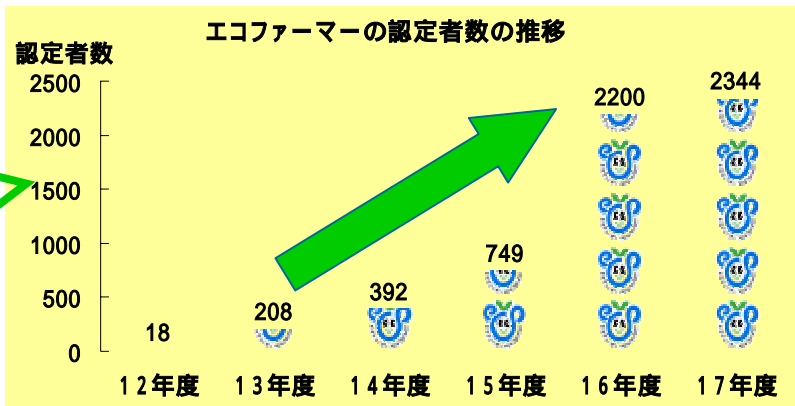


環境にやさしい農業に取り組む

エコファーマー

愛知県では、環境にやさしい農業に取り組む農業者をエコファーマーとして認定し、その活動を応援しています。

18年1月末時点で、
2,344名の
エコファーマーが認定
されています。



エコファーマーの
マークです！



Q:エコファーマーはどんな人？

A:環境にやさしい農業に取り組む計画を作成して、知事の認定を受けた農業者のことです。

Q:環境にやさしい農業とは？

A:土づくりをしたり、できるだけ化学肥料や化学農薬を使わないようにする農業です。



エコファーマーがどんな方法に取り組んでいるのか紹介します。

エコファーマーはこんなことに取り組んでいます！

緑豊かな環境を維持し、農産物を安定的に生産するためには、環境にやさしい農業の実践が非常に大切です。

環境にやさしい農業を実践するエコファーマーは、たい肥などを利用した土づくり、化学肥料を減らす取り組み、化学農薬を減らす取り組み、これら3つの取り組みを実施する計画を立てることで、知事に認定されます。

取り組み例

土づくりに関する取り組み

土壌診断や調査に基づいた肥施用量や施肥量の算出



左の写真では、土を1m近く掘り、根の張り具合を調べています。

こうした取組により、作物の生育に適した土づくりを進めています。

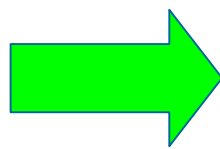


土壌診断によってたい肥や肥料の施用量を算出

たい肥等有機質資材施用技術



牛ふんたい肥などを散布します。



すみやかに土と混ぜます。

緑肥作物利用技術



緑肥作物を栽培することで、肥料が流れるのを防いだり、緑肥作物をすき込むことで、土づくりに役立ちます。



化学肥料を減らす取り組み

局所施肥技術

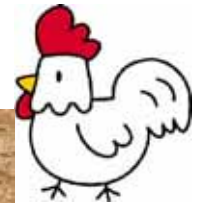


農地全体に肥料をまく

根が届く場所だけに肥料をまく

根の周辺に肥料をまくことで、植物が利用しやすく、肥料の量を減らします。

有機質肥料利用技術



鶏ふんやうずら糞などの有機質肥料を利用して、化学肥料を削減します。

黒い部分が有機質肥料です。

その他に、成分がゆっくりと溶け出していく肥料を利用する取り組みもあります。

化学農薬を減らす取り組み

フェロモン剤利用技術



この部分に、フェロモン剤が入っています。

害虫をおびき寄せたり、交尾を阻害するフェロモン剤を利用して、化学農薬を減らします。

生物農薬利用技術



黄色い虫が害虫です。

天敵昆虫などで害虫を減らし、化学農薬を減らします。

マルチ栽培技術



地面をビニールなどで覆って雑草が生えるのを防いで、除草剤を減らします。

被覆栽培技術



ハウスの横などを目の細かい網で覆って、害虫が入るのを防ぎます

ネットなどでハウスや農作物を覆って病害虫による被害を軽減します。

その他に、機械で草刈りをしたり、雑草を食べる動物を利用して、除草剤を減らす取り組みもあります。

エコファーマーの活動をPRしています！



エコファーマーと消費者の交流会

エコファーマーの栽培ほ場に消費者を招いて、意見の交換会を実施しています。

エコファーマーの農産物をPR

スーパーなどでエコファーマーの農産物や栽培状況などを紹介しています。

このほかにも、愛知県農林水産部農業経営課のホームページ内でエコファーマーを紹介しています。

<http://www.pref.aichi.jp/nogyo-keiei/jizoku/index.html>

地域で活躍するエコファーマー！（平成18年1月末現在）



愛知県農林水産部農業経営課 環境・植防グループ

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話052-954-6411 FAX052-954-6931 <http://www.pref.aichi.jp/nogyo-keiei/jizoku/index.html>